

令和5年度ごみゼロやまがた推進県民会議県民部会議事録

《日時》

令和6年2月15日（木）13時00分～14時00分

《場所》

山形県庁1002会議室

《出席委員》（委員名簿順）

板垣裕子委員（代理：福島郁氏）、河合麻衣委員、笹原美百紀委員、山本幸子委員、横尾知子委員 計5名

《県民部会》

1 開会

【事務局】（小関部会長が急遽欠席となったため、小関部会長から座長の指名があり、笹原委員に座長を依頼し了承されたことを説明。）

2 あいさつ（笹原委員）

3 議事（座長：笹原委員）

(1) 報告

① ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について

【各委員】（資料1により報告）

【事務局】（欠席委員報告分について、資料1により報告）

(2) 協議

① 令和6年度「ごみゼロやまがた県民運動」（家庭編）展開方針（案）について

【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【山本委員】

冒頭に「全国一ごみの少ない県を目指し、まずは1人1日当たり100gごみを減らすために、職場全体で積極的に取り組みましょう。」とあるが、「美しい海を守りましょう」などを訴えた方が心に響くのではないか。

マイバックは十分普及しており、「水筒やマイボトル等を積極的に活用」を2番のプラごみゼロのメインにすることはとても良いが、コロナ禍もあり、子どもには学校などに水筒を持って行くことが定着してきていると思われ、大人に向けて啓発して行く必要があると思われる。

100gの例としているキャベツときゅうりについて、ペットボトル何本分などとした方が誰にでもわかりやすく、モチベーションに直結するのではないか。

【事務局】

「全国一ごみの少ない県を目指す」というのは、循環型社会形成推進計画の基本目標であり、まずは1人当たりどのくらいごみを減らすとよいか具体的な数量の目標があると、イメージしやすく実際に取り組みやすいという意見もありこのような表現とした。また、次の活動内容案で説明するが、来年度にマイボトルの普及啓発に取り組んで行くこととしており、マイボトルを持ち歩くことを大人の世代にも広げることで、県民全体でのライフスタイルの変革につなげていきたい。

効果的な啓発となるよう、表現や使用するイラスト等については検討したい。

【横尾委員】

「3 分別徹底で、リサイクル推進！」の中の項目については、令和5年度版の方が見やすいと感じた。

【事務局】

レイアウトの都合もあるが、記載方法については検討したい。

【笹原委員】

県民運動（家庭編）の展開方針案については、部会長に一任していただき、事務局と調整の上、来年度の総会に提出することとしてよいか。

【各委員】

異議なし（了承）

② 令和6年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について

【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【河合委員】

「おいしい食べきりキャンペーン」の実施や「マイボトル」の普及啓発など、県民運動として新たな取組みが広がっており、良いと思われる。

【笹原委員】

ごみゼロやまがた県民運動の活動内容（案）については、この内容で来年度の総会へ提出することでよいか。

【各委員】

異議なし（了承）

(3) その他

【事務局】 展開方針について、各団体におけるより一層の周知をお願いする。

4 その他

委員改選に係る今後のスケジュールについて説明

5 閉会